

地域 コミュニティ かわら版

菅谷一区

「ミニ」ティ事業の紹介
区長 宮本 雍久

一区のコミュニティ事業の一部を紹介します。

①『あじさいの里づくり事業』

県道菅谷・寄居線の菅谷三叉路から志賀に向かって、踏切までの左側ののり面にあじさいを植え、5月、8月、10月の年3回、区民の手で草刈、清掃、手入れをしております。お蔭様で毎年綺麗に咲いて、通行する人々に楽しんで頂いていると自負しております。

②『目指せ100歳元気！元気！事業』

3年目を迎えて、毎回多くの参加をいただき、ご自分の健康管理と親睦に努めております。社協と社協登録のボランティアさんの支援をいただいて月2回実

施しております。100歳までは元気に楽しく日々を重ねていく様にみんなががんばろう！口腔体操、ストレッチ体操、歌に手芸作りに楽しんで過しております。

③『春秋2回の歩く集い事業』

春は新緑の若葉、歴史資料館や国立女性会館の中の散策コースを歩き、秋は紅葉を観ながら大平山、嵐山溪谷を散策し、班溪寺で山吹の姫のお墓に詣で、都幾川の土手を歩き、からだ一杯美味しい空気を感じながら親睦を深め歩く集いを行っております。

④『グラウンドゴルフで健康事業』

昨年は嵐山スポーツ大会で2位に入賞して、比企郡の大会に出場する資格を得て、なんと郡大会で優勝する事が出来ました。今年は3位になり、残念ながら郡大会での出場は成りませんでしたが、来年こそはとグラウンドゴルフを実施している菅谷一区元気の皆さんは名前の通り元気に活躍しております、1区の諸事業の実行部隊の基幹になっております。

紙面の都合で全てをご紹介できないのが残念ですが、この他、⑤明るい町づくりの事業、⑥嵐山夏まつりの事業、⑦学童下校時交通

指導、⑧ナイトパトロール、⑨いきいきサロンの事業、⑩在宅高齢者活性化事業を行っています。

志賀二区

区長 根岸 重雄



志賀二区は、40年前に「地産が開発した集合住宅地域で、現在900世帯ほどでコミュニティを形成し、地域の形成とほぼ同時に結成された自治会が中心的な役割を担っています。」「二歩の会」「寿楽会（老人クラブ）」「スポーツ同好会」などがこの地域のコミュニティ活動を活発に展開しています。他にも卓球や民謡、大正琴などの多くの同好会が活発に活動を展開しています。

昨年から隔年実施となった自治会主催の夏まつりはこうした団体の協力を得て開催されています。まつりにはお年寄りから子供まで志賀2区の外からも大勢の人が訪

れ、延べ1000人を超える人達で賑わいます。

居住者は殆どが都心から移り住んだ人達で当時は、30代40代の若い人達で構成されていましたが、今はご多分に漏れず、こども高齢化が進んでいます。

それでも、少なくなったとはいえ、子供たちの元気な声が公園や路地で飛び交い、一歩の会が催す月1回の昼食会にお年寄りが集まって歌ったり談笑したり楽しい時を過ごします。また、お年寄り自らが計画、参加しての老人クラブ「寿楽会」も活発です。

春、秋の美化清掃デーには450人を超える自治会員が第1公園などの草刈り、清掃作業に参加し連帯を深めています。

みんなが住んで良かったと言える志賀2区となるよう、より協力し合っていきたいものです。

